社会福祉法人 SKY かわさき 令和 7 年度事業計画

法人：事業方針

令和 7 年度事業方針：第 2 期 3 年計画（令和 7 年度～令和 9 年度）に沿い、透明性、公益性を確保し、地域ニーズを確認する。体制整備を行い、経営基盤を安定させる。人材確保と育成。市民団体から数え設立 30 周年を迎えるため、今後も事業の継続・発展に向け、法人全体で取り組んでいく。

1. 法人重点項目

(1) 防災対策をすすめる

水害時の避難基準と事業所の開所判断基準の再検討を行う。

(2) 地域ニーズの確認と法人組織の活性化

- ① 地域連携推進会議や地域ネットワーク会議を開催し、地域ニーズを確認する。
- ② 各事業所、積極的に外部団体・関係者と交流を図り、地域とのつながりを深める。

(3) 経営基盤の安定

- ① 利用中のクラウド閉鎖を受け、新規クラウドへの安全な移行をすすめる。
- ② 記録ソフト導入を検討し、業務の効率化を図る。
- ③ 計算書類や社会福祉法人会計基準について理解を深める。

(4) 人材確保と育成

- ① 法人全体で当事者雇用等多様な人材確保を図る。
- ② 法人としての義務研修、会計研修、中堅研修、委員会研修などを計画的に実施していく。
- ③ 職員個々のスキルアップを意識し、研修計画を作成・実施する。

2. 会議・委員会計画

1) 評議員会

定時評議員会として毎年 6 月に開催するほか、必要な場合に開催する。

2) 理事会

当法人の業務執行の決定、理事の職務執行の監督を行う。3 月ほか必要な場合に開催する。

3) 本部会議

事業、人事、労務、総務にかかわる事項を審議し、理事会議事の提案事項を起案する。構成は各部長とし、原則月 2 回開催する。

4) 所長会

各事業所およびその他の事業について協議する。構成は、各所長とし、原則月 1 回開催する。なお、所長会の分掌会議として以下の委員会を開催する。

(1) 安全管理委員会

各事業所における事故報告・ヒヤリハット等の報告事項を共有し再発防止について検討する。所長会が兼務する。

(2) 苦情解決委員会

各事業所における苦情等の報告事項を共有し再発防止について検討する。所長会が兼務する。

(3) 情報管理委員会

法人内における情報管理にかかる事項について検討する。所長会が兼務する。今年度は、上期に現在利用中のクラウド閉鎖に伴うデータ移行と新規体系の確立を行い、下期に記録ソフト導入の検討を行う。

(4) 特別委員会

事業所運営に関するこのうち、事業所間で連携して取り組むべき年度課題等について検討する。今年度はさくらスタジオの今後の運営について、及び登戸地区の水害時の避難基準について検討する。

5) 主任会

各事業所の活動報告を共有し、連携を図る。広報、普及啓発、研修、防災委員会報告事項を協議する。構成は各主任とし、原則月1回開催する。なお、主任会の分掌会議として以下の委員会を開催する。

(1) 感染対策検討委員会

感染症の発生及びまん延の防止等に関する取組について検討及び研修会を開催する。また必要に応じてBCPの見直しを行う。主任会が兼務する。

(2) 身体拘束等の防止委員会

身体拘束等の防止についての検討及び研修会を開催する。主任会が兼務する。

(3) 虐待防止委員会

利用者の安全と人権保護の観点から虐待の防止とその適切な対応の推進について検討する。主任会が兼務する。

(4) 広報委員会

年2回の通信の発行及びホームページの更新を通じて、各事業所の取り組みを伝えるとともに、法人全体の活動を伝えていく。また、前年度から持ち越しをした法人パンフレット改定を行う。

(5) 普及啓発委員会

地域とのつながりを深め、地域ニーズを確認していくため、法人主催のイベントや講演会等を企画する。今年度は演劇会及びトークセッションを開催する。

(6) 研修委員会

法人全体で取り組む研修を開催する。今年度の重点項目として、次世代を担う職員を育てるため業務報告会と、職員の関心の高いテーマの内容を行う。

(7) 防災委員会

法人内の防災訓練を実施及び、BCPの見直し、訓練・研修を行う。

(4) 就労継続支援 B 型事業所 があでん・ららら

- ① シフト増や新規受け入れの希望に応えられるよう職員体制の充実をはかる。
- ② 庭の整備をおこない、誰でも手入れがしやすく、喫茶のお客様がより楽しめるような庭造りに取り組む。
- ③ 自主製品については、在庫管理の見える化や新製品の開発をおこなう。

- ・ 場所 川崎市麻生区下麻生 3-32-5
- ・ 従事者人員 10 名（所長・常勤 3 名、非常勤 7 名）
- ・ 対象者定員 20 名

2) 相談支援事業

(1) 地域相談支援センター ひまわり

- ① 障害種別や年齢等に関わらず、様々なニーズに対応、マネジメントできるような支援を提供する。
- ② 地区担当制の利点を活かし、他機関や地域とのネットワークづくりをすすめるため、地域の会合等に積極的に出向いていく。
- ③ 災害時における障害者の個別避難計画作成や、医療的ケア児者支援についても取り組む。
- ④ 事務所移転の実現と、法人内他事業所へのバックアップもおこなっていく。

- ・ 場所 川崎市麻生区百合丘 1-20-7 白井ビル 2 階
- ・ 従事者人員 3 名（所長・常勤相談支援専門員 3 名）
- ・ 対象者 141 名

(2) 相談支援事業所 かみひこうき

- ① 主に法人内事業所を利用している方の計画相談をおこなう。
- ② 区自立支援協議会へ参加し、地域ニーズを把握したり情報交換をおこなう。

- ・ 場所 川崎市多摩区登戸 2341-1
- ・ 従事者人員 3 名（所長・常勤 2 名、非常勤 1 名）
- ・ 対象者 28 名

3) 地域生活支援事業

(1) 地域活動支援センター きたのぼ

- ① 新規利用者の受入れと定着を目的に、関係機関への広報や連携に努める。
- ② 利用者のニーズに添った作業やプログラム活動を実施すると共に、一般相談も念頭に置いたインフォーマルな場面での情報交換も意識的におこなう。
- ③ 障害理解の普及啓発活動として、ボランティアや実習生の受入れをおこない、地域のイベントに参加したり自主イベントを実施したりする。

- ・ 場所 川崎市多摩区登戸 2341-1
- ・ 従業者人員 5 名（所長、常勤 2 名、非常勤 2 名）
- ・ 対象者 32 名

(2) 地域活動支援センター さくらスタジオ

- ① 相談支援事業所との継続的な情報交換の機会を持ち、地域ニーズの確認と利用者層の検討を行う。
- ② LIVE等の地域へ向けた活動を企画、開催する。また地域イベントへ参加し地域とのつながりを持っていく。
- ③ 個別支援の充実を図るためコンセプトや事業展開について検討する。
 - ・場所 川崎市麻生区片平 2-29-1-B1
 - ・従業者人員 3名（所長、非常勤2名）
 - ・対象者 33名

(3) 地域活動支援センター 紙ひこうき

- ① 開設20周年記念イベントを開催する。
- ② 利用の定着を促進するため、SNSの活用について検討し実施に向けて取り組む。
- ③ 利用者が寺子屋事業や出張演奏などの地域交流事業を主体的に取り組めるよう支援していく。パサージュ・たまについては地域とのつながりを広げられる取り組みを目指す。
 - ・場所 川崎市多摩区登戸 2341-1
 - ・従事者人員 4名（所長・常勤2名、非常勤2名）
 - ・対象者 65名

(4) 北部地域生活支援センター ゆりあす

- ① 精神障害のある人の地域拠点として、社会的なニーズ・地域のニーズを的確かつタイムリーに捉え、行政機関・関係機関と連携しながら地域全体の支援や普及啓発に取り組む。
- ② 当事者の持てる力を活かし、当事者と専門職が協働しながら事業に取り組む。精神障害者ピアサポーターを養成・支援し、当事者が声を挙げ、思いを届けられる機会を創出する。
- ③ ピアガイドヘルパー事業においては、移動支援の新規受け入れを開始するとともに、長期入院中の方への訪問等にも活動の幅を広げ、人や場と繋がりたくても繋がれていない方の社会参加と当事者の活躍の場の拡大をより推し進めていく。
 - ・場所 川崎市麻生区百合丘 2-8-2 北部リハビリテーションセンター2階
 - ・従事者人員 11名（所長・常勤6名、非常勤1名、ピアスタッフ4名）
 - ・対象者 239名